

新除草・調節剤

MCC + MCP 粒剤

(取扱会社)

日産化学工業株式会社

日本農業株式会社

本剤の主成分はMCC (メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト)とMCP (MCPエチルエステル)との混合剤である。A剤(MCC 15%+MCP 0.7%), B剤(MCC 20%+MCP 0.7%), C剤(MC 20%+MCP 0.9%)の3剤形があるが、B剤が中心となる。

本剤の主なる特徴は、生育の進んだ雑草(8葉期)を湛水条件下でよく枯殺せしめるとともに爾後の雑草の発生を抑制せしめる作用、すなわち、雑草処理+土壤処理能力を併せもっていることである。雑草種類に対する選択殺草性はイネ科、広葉、マツバイと全草種に極めて高い効力がある。土壤中の移動性は小さく、水稻に対する安全性は高い方である。

効力の持続性は極めて長く、1回の処理で全期間の雑草防除が可能とされている。

使用場面は、全国を対象とする。処理時期は田植10日後以降で、雑草2~3葉期が適期とされる。散布はやゝ深水条件下で行なうのが有効である。

HE-314粒、乳剤

(取扱会社)

三洋貿易株式会社

本剤の主成分は3-メチルフェニル-4-ニトロフェニルエーテルである。25%乳剤と10%粒剤とがある。

本剤の主なる特徴は、生育の進んだ雑草(2

~8葉期)を湛水条件下でよく枯殺せしめるとともに、後次発生 of 雑草の発生をも抑制せしめる作用をもっている。雑草種類に対する選択殺草性はイネ科、広葉の一年生雑草には極めて大きい、マツバイにはやゝ小さい傾向にある。土壤中の移動性は小さい、効力の持続性は中程度とされている。

使用場面は、全国を対象とする。処理時期は田植後で雑草2~3葉期が適期とされる。散布はやゝ深水条件下で行なうのが有効である。

なお、本剤の改良剤HS-421粒剤がある。HE-814剤で効力の小さいマツバイに対する効力を高めたもので、マツバイ発生の多い地帯で有効とされている。

シメトリン粒剤

(取扱会社)

日本化薬株式会社

本剤の主成分は2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジンである。2.5%粒剤1.5%粒剤とがある。

本剤の主なる特徴は、根部吸収作用がイネに小さく、ヒエに大きい選択性があるのでイネに対し安全性が高い。雑草種類に対する選択殺草性は小さく、イネ科、広葉ともに大きいのみか、多年生雑草ヒルムシロに増殖初期での処理で極めて卓効がある。またマツバイに対しても効果が大きいとされている。雑草葉令からみた殺草性は1~2葉までは大、3葉期以降では小さいとされる。土壤中の移動性は小さく、効力の持続性は長いとされている。温度特に高温条件下での作用性はグザガードより小さく安定とされている。